

▼Tower Pyramid 運動会などでの組体操

▼Jungle Gym ジャングルジム

▼Air Conditioning ストーブや 扇風機。 エアコンや床暖房に



ドッジボールは「痛くないもの」に変化

▼Dodge Ball ドッジボールの ボール

学校から なくなつたもの

▼Poolside プールの 腰洗い槽 (消毒槽)



約70年の歴史に幕

▼Examination 学校検診時の 座高測定

▼Name Plate 名札。着けている場合も 下校時にははずす

▼Spirit Lamp 理科の実験用の アルコールランプ

▼Instrument Shelter 百葉箱。 壁掛け方式などに

イラスト：村上テツヤ

▼ON the Blackboard 発言を板書するとき 誰の発言かわかるように 名前の書かれた マグネットを貼る

▼Silencer テニスボールを使って 椅子や机と床の 摩擦音軽減する

▼Solar Power 屋上で 太陽熱発電



▼Luncheon Mat 給食の ランチョンマット トレーでは味気なかった!?



学校の教室もIT化が進んでいる

▼Teaching Materials ICT教材、 iPadなど

▼Blackboard ホワイトボードや 電子黒板にかわった

▼Schoolyard 校庭に芝生が 植えられた

学校に新しく 導入されたもの

学校現場、 新しく導入されたもの & なくなったもの集

〔学生発案企画〕

月日は百代の過客にして、行きかう年もまた旅人なり…
と申しますように、時は移ろい変化するもの。
学校の環境も同じ。一日一日、変化しています。
というわけで、ここ10年ほどで学校からなくなったもの、
新しく導入されたものの例を全国の学生特派員が調査しました。

「新」しく導入されたもの」の代
表格はタブレット端末など
のICT教材だろう。文部
科学省も、未来社会を見据えて育成
すべき資質・能力を育むための新た
な「学び」や、それを実現していく
ための「学びの場」形成のために
ICT教材の導入を進めている。
給食の食器のトレーがランチョン
マットに変わっているという報告も
寄せられた。学校によってはサイズ
が指定されることもあり、それに合
わせて手作りする家庭もある。
「なくなったもの」としては、学
校検診時の「座高測定」はニュース
にもなった。上半身と下半身のバラ
ンスを見ることで発育状態を知ると
いう目的で1947年から行われて
きたが、2015年度で廃止された。
学校現場からは「意味があるのか？」
との声が多かったようだが、子ども
を取り巻く環境の変化から、文科省
が「省略可能」と判断した形だ。同
時に「ぎょう虫検査」も廃止された。
「なくなったもの」には危険であ
ることが理由のものがいくつか見ら
れる。運動会などで行われる組体操
は高所からの落下事故が報告され
(年間8000件という統計も)、東
京都は都教委が16年からタワーやピ
ラミッドの原則休止、大阪市の市教
委も17年からの禁止を発表している。
理科の実験で使われるアルコール
ランプも倒れたときの危険性やマッ
チを使えない子どもが増えているこ
とから、カセットコンロ方式の「実
験コンロ」にとってかわられている。
ドッジボールにも変化が起きてい
る。ドッジボールそのものがなくな
ったわけではなく、ぶつけられても
痛くないボールやフリスビーのよう
なディスクを使うゲームに変わっ
てきている。

※新しく導入されたもの、なくなったものには地域などによる違いがあります



教職員になったら教職員共済へ!

教職員共済といえばやっぱり!

総合共済

月掛金 900 円で 12 の保障 (補償)

- | | | | |
|---------|----------------|---------|---------|
| 1 教職員賠償 | 2 個人賠償 | 3 火災等 | 4 住宅災害等 |
| 5 災害見舞 | 6 死亡 | 7 後遺障害 | 8 入院・休業 |
| 9 傷害 | 10 介護(傷害事故による) | 11 遭難救助 | 12 退職 |
- 1年以上契約すると誰でももらえる!

※この共済は教職員共済の「総合共済」と損保ジャパン日本興亜の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」とのセット商品で、月掛金900円のうち170円は損保ジャパン日本興亜の保険料です。

承15-企-47(1512) S.JNK15-12254(2016.01.13)

詳細はWEBから!
メルマガ登録も歓迎します

教職員共済

モバイルはこちらから!

業務中の賠償事故には—— 教職員賠償

支払事例 卒業アルバムの校正ミス!!

卒業アルバム作成時に生徒の名前に誤りがあったが、担当の教員が見えできず、修復が必要となった。



お支払金額
約8万円

※補償の有無・支払金額などは状況により異なります。

2015年度の支払実績 (教職員賠償)
件数 ▶105件 支払金額 ▶約879万円

日常生活の賠償事故には—— 個人賠償

支払事例 他人にケガを負わせて治療費が発生!!

セルフサービスの飲食店で紅茶をトレイに載せて歩行中、トレイから紅茶をすべり落としてしまい、近くに座っていた人にかかり、ヤケドを負わせてしまった。



お支払金額
約300万円

※補償の有無・支払金額などは状況により異なります。

2015年度の支払実績 (個人賠償)
件数 ▶273件 支払金額 ▶約7,007万円



佐藤理恵さん
1991年岩手県生まれ。岩手県内の公立高校を卒業後、茨城大学教育学部に進学。同大学在学中の2013年に教員採用試験に合格、翌年4月に岩手県立気仙光陵支援学校に赴任。

教職の魅力は 子どもの成長に 立ち会えること

岩手県立気仙光陵支援学校教諭

佐藤理恵さん

幼 少期には、憧れの職業が二つありました。一つは司法書士。叔父の事務所に遊びに行つては、その働く姿を見てカッコいいなと眺めていました。そしてもう一つが教員でした。とにかく子どもが好きで、小学校高学年の頃は、低学年の子とよく遊んで

いました。本格的に意識しはじめたのは、中学生になってからです。両親が小学校の教員で、最も身近に感じられる職業でした。小中学校の職場体験もそうですが、実際にその職業に触れる経験って大きいと思うんです。特に自分はそういうタイプだったのだと感じます。

はじめは、小学校教員をめざしてました。大学進学の際に、母が「こういう道もあるのよ」と、特別支援教育に進むきっかけをくれ、茨城大学教育学部の「特別支援教育コース」へと進みました。大学では、特別支援学校に通う子どもたちと一緒に体を動かすボランティアサークルに所属してました。子どもたちと接する中で、変化、成長を見つけることができた時は、何にも代えがたいやりがいを感じました。

障がいやその度合いの異なる子どもたち一人ひとりにきめ細やかに支援するための準備が求められるのだと再確認しました。特別支援学校の教員になって3年になります。1年目は小学部4年の副担任で、2年目から正担任をしています。同じ子どもたちでも、心身ともに年々変化し、新たな問題行動などが出ることがあります。「こんな時はこうすれば正解」というものはなく、どう支援するか悩むこともありますが、副担任や同僚の先生、両親にアドバイスを求めるなどして乗り越えてきました。教職の魅力は、校種にかかわらず、子どもたちが日々成長する場面に立ち会えるということではないでしょうか。

人と話すのが苦手な子どもにも児童会活動を勧めたことがありますが、週に一度、集会で話す機会を通じ、徐々に苦手意識が薄れてきたようです。先日地元の小学校との交流会で、立派に代表あいさつを務めてくれました。「こんなにできるようになったのね!」と、本当に感慨深かったです。こんな経験ができるのも、教職ならではの実感しています。



PICK UP INFORMATION

編集部が注目する教育業界の活動やイベントを紹介します

EVENT REPORT

給付型奨学金 創設に向けて

ACTIVITY

2.6人に1人の学生が奨学金貸与を受けている現在、その返済の負担が若者に大きくのしかかっています。こうした問題にとりくむ団体の一つが、神奈川県高等学校教職員組合の奨学金問題プロジェクトです。プロジェクトでは、現在の奨学金制度の問題点や借り際の注意点を教職員、生徒、保護者に周知するために、教職員向けのリーフレットや各校で利用できる生徒向けパンフレットをWebサイトで配布しています。メンバーの富貴大介さんは「すべての希望する学生が家庭の経済状況にかかわらず高等教育を受けることができるよう、給付型奨学金の創設を求めています」と今後の活動について語っています。生徒向けパンフレットはWebページ (<http://www.edu-kana.com/index2.html>) からダウンロードできます。



交流の場「TOMO-KEN」 若手教職員が活発に議論



(左) TOMO-KEN全体会での開会挨拶の様子。(右上) 全体会の趣旨説明などを真剣に聞く若手教職員。(右下) 分散会の様子。6つのテーマの下、22グループに分かれて実践報告や議論が行われた。

10/8(土)~9(日)にかけて、千代田区の日本教育会館で「第8回 TOMO-KEN—青年教育実践交流集会—」(日本教職員組合主催)が開催されました。「TOMO-KEN」は、「友と共に学ぶ」という意味を込めて名付けられた若手教職員の実践報告・交流集会です。全国から約250人の教職員が集まり、自分たちの抱える悩みの共有や実践についての意見交換が活発に行われました。

参加した教職員は、「これほど時間を取って、子どもたちのことを話し合える場は他にない。来年もぜひ参加したい」「学級についての悩みなどは職場で相談しづらい場合もある。こうした機会だからこそ話せることもある」などと感想を語りました。多忙化する学校現場で、子どもたちと向き合う時間が減少している中、校種や職種、地域を越えた意見交換・交流の場で得られる経験は貴重です。子どもたちの豊かな学びを担保するために、こうした機会をより充実させることが求められます。

PRESENT

みなさんの声をお寄せください

EDUPONTを読んだ感想や取り上げて欲しい内容など、みなさんのご意見をお聞かせください。編集部まで声をお寄せいただいた方の中から、表紙の人・土屋太鳳さんのサイン色紙をプレゼントします。①名前、②大学名・所属、③年齢、④住所、⑤ご意見・ご感想を明記の上、件名を「EDUPONT6号プレゼント応募」として、以下の宛先までメールをお送りください。みなさんのご応募をお待ちしています。



応募先 メール/ edupont@shakai-ouen.com

貸与型奨学金は借金という意識

— 大学生を取り巻くお金の状況の一例として、貸与型奨学金の返還が大きな負担になっています。2016年7月に行われた参議院選挙でも、返還不要の給付型奨学金の導入へのとりくみを各党がアピールしていました。大学生はどのようにとらえていますか？

岡田 私たちは二人とも、貸与型奨学金を利用しています。今、大学4年生なので、来年春には学生生活を終え、返還が始まりますが、自分が「1000万円単位のお金を借りている」ということはあまり意識できていません。

荒木 この企画に参加するにあたって、奨学金の返還が3カ月遅れると、事故情報として個人信用情報機関に登録されることを知りました。大学生活が終盤になるまで、そのあたりのことをよく分かっていたいなかったのです。

三枝 日本の教育現場でお金の話をすることはどこかタブーになっているところがありますね。大学に入る前に、奨学金についてどこからアドバイスを受けたことはありませんか？

岡田 高校で面談はありましたが、借り入れであることを意識させる

ものではありませんでした。高校の先生が利子を計算して返還のシミュレーションをして

くれたことがあり、教室全体が凍りつきました。大学に入ってから他のタイプの奨学金があることを知り、もっと早く知っていればと思いました。

岡田 計算してみると毎月2万数千円を40代まで払っていかなければならぬので、改めて考えると不安になります。

春香クリスティーン 私がお金について意識し始めたのは、日本でひとり暮らしを始めた16歳の時です。はじめは、生活するのに何が必要かも分からなくて、不要なものを買ってしまったこともあり、収入と支出を見ながら、家計をやりくりすることの難しさを感じました。

三枝 私は、子どもたちに基本的な経済の考え方を身に着けてもらおうと「無人島漂着シミュレーション」という授業をしています。無人島に流れ着いたら、まず何をしますか？

岡田 安全な場所を探します。
荒木 食べるもの、身に着けるものを見つけてみます。

三枝 それが自給自足経済の形です。そこから共同で生産を増やしたり、イカダで島の外へ移動した

りして、他の島との交易が生まれたりすることで、経済が発展していきます。子どもたちも、分業と交換を行ったほうが、社会が豊かになることが分かり、現在の市場経済に至る大まかな道筋を理解するようになります。大切なのは、その理解を通して子どもたちが自分の考えを持つことです。同時に、世の中や経済に対して素朴な疑問を抱くようになることをめざしています。

ツトカードを使っていますか？

岡田 買い物に使いますが、一回払いにしています。

荒木 航空券やパソコンといった金額の大きなものを買う時は分割払いにすることもあります。でも、利子が付くのは怖いですね。

三枝 気を付けないといけないのはカードローンの「利息」やリボ払いの「手数料」は非常に高いもので、知らず知らずのうちに利用額を増やしてしまいます。

クレジットカードの支払い方法に注意

— 奨学金と並んで学生が不安に思っているのが、クレジットカード利用です。学生の二人はクレジ

ットカードを使っていますか？

岡田 買った物に使いますが、一回払いにしています。

荒木 航空券やパソコンといった金額の大きなものを買う時は分割払いにすることもあります。でも、利子が付くのは怖いですね。

三枝 気を付けないといけないのはカードローンの「利息」やリボ払いの「手数料」は非常に高いもので、知らず知らずのうちに利用額を増やしてしまいます。

クレジットカード支払い方法による違い(例)

	金利	返済回数・期間	返済額
1回払い	かからない	1回 *翌カード支払日にまとめて支払い	利用した金額のみ
分割払い (3回以上)	かかる (9~15%など)	3回、6回、10回、15回など 返済回数を決める	毎月の負担は抑えられるが、返済回数に応じて 金利手数料がかかる
リボ払い	かかる (15%など)	・一定のルールで毎月の返済額を決めるため、借入額によって変動 ・大きな金額を借り入れると、 返済期間が長期化する	毎月の負担は抑えられるが、借入れが長期間におよび、 金利手数料の負担が大きくなりやすい

※実際の金利は利用するクレジットカードや支払い方法によって異なります。

特別座談会

大学生なら知っておきたい「お金」の話

奨学金返還が大きな負担、というニュースを耳にします。大学生のお金への意識とはどのようなものなのでしょうか。中学で社会科を教える三枝先生、タレントの春香クリスティーンさん、大学生による「お金の話」座談会を企画しました。

*このページは「中央ろうきん社会貢献基金」の協賛を受けて、EDUPONT編集部が企画・制作しました。



右から

三枝利多

(さえぐさ・としかず)
都内中学校教諭。公民の学習で、「無人島漂着シミュレーション」などシミュレーション教材を活用した授業を展開している。

春香クリスティーン

スイス出身。高校2年生の秋に単身来日。日本政治に関する知識が深く、国政を解説した本を出版するなど幅広く活躍。

【学生特派員】

岡田 龍 (おかだ・りゅう)
荒木 真歩 (あらかき・まほ)

払いを勧められると、それが良さそうに思ってしまうがちです。スマートフォンでの支払いもそうですね。ネットの中ではお金の価値が分かりにくくなり、使っているうちにいろんなものが加算されていき、後から請求書を見てビックリ、ということがあります。

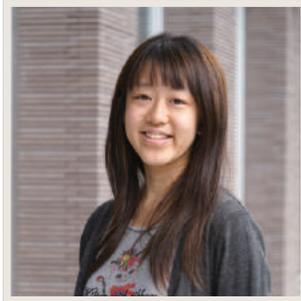
三枝 スマートフォン端末の分割払いはローン契約と同じです。携帯料金を延滞すると、端末の分割払いが上乗せされている場合は、学生でも個人信用情報機関に登録され、クレジットカードが作れなくなるなどの事例もあります。

荒木 スマートフォンの料金の支払いも奨学金の返還も後悔しないよう、お金についての知識や情報は、できるだけ早いうちに知った

ほうがよいと感じます。

春香クリスティーン 学校現場で、そうした情報を教える時間を持つにはどうすればいいのでしょうか。
三枝 中学、高校、大学と継続して、お金に関する知識や情報を伝えていくことが必要だと思います。ゆくゆくは経済の全体像や契約などの概念についてもすっかり知ってもらいたいと思いますが、まずは自分たちに関係がある身近な事例から入ることで、子どもたちも関心を持つはずです。同時に、なぜ自分たちがリボ払いやカードロ

ーンを勧められているのか、その社会背景や理由を考えてみることも重要だと思えます。お金の話は世の中の誰ひとり避けて通ることができないものですから。



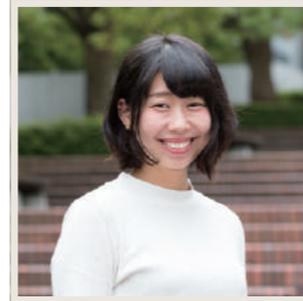
里吉真緒さん (山梨大学教育人間科学部芸術身体教育コース2年) ①教科書にない豆知識を織り交ぜた『源氏物語』の授業 ②教授の人数が多く密に関われる ③高校の担任に熱弁された「良い話には裏がある」 ④美術と関わっていきたく思ったから



桜本航輔さん (東洋大学文学部教育学科4年) ①途上国の学校支援などを学んだ『国際教育論』の講義 ②「努力は報われる」と励ましてくれた教職支援室 ③大学創立者井上円了の「諸学の基礎は哲学にあり」 ④高校の担任に「教師に向いている」と言われたから



衣川沙希さん (山梨大学教育人間科学部生活社会教育コース3年) ①社会科学教育論の講義 ②先生方が親身になってくれる ③小学校の先生に言われた「自分がやられて嫌なことは他人にするな」 ④中学時代にお世話になった先生方のようになりたいと思ったから



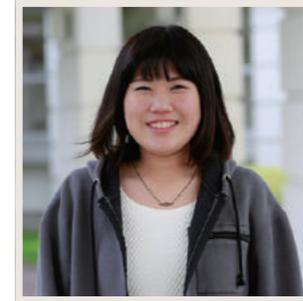
高原雛子さん (東洋大学法学部法律学科3年) ①「ゲルニカ」を題材に戦争の悲惨さを訴えた中学の教頭先生の話 ②おいしい学食 ③先輩に言われた「何かを決断する時はその道に進んだ自分が想像できるかを考えなさい」 ④熱心で面倒見の良い高校の恩師に憧れて



山田 萌さん (岩手大学教育学部学校教育教員養成課程4年) ①アカベラサークルの活動 ②自然豊かなところ ③教育実習の時に言われた「ピンチはチャンス」 ④小学6年の時の担任に気づかなかった長所を褒められ、自分も子どもの可能性を見つけないと思ったから



富永光一さん (盛岡大学文学部英語文化学科4年) ①ランニング ②学生数が少なく、先生との距離が近くアットホームなところ ③少年野球の監督に言われた「上達に近道なし」 ④ボランティアでしていた母校の中学校でのソフトテニスのコーチ経験から



山内結香さん (盛岡大学栄養学部栄養学科4年) ①好きなバンドのライブ ②クラス制でみんなと仲良くなれるところ ③高校の担任に言われた「人は忘れる生き物。でも忘れるから生きていくことができる」 ④子どもたちに喜ばれる給食を考えたいと思ったから



藤原健太さん (岩手大学教育学部学校教育教員養成課程4年) ①小学校での学習支援 ②緑が多く癒されるところ ③教育実習の指導教員に言われた「何事も始めれば終わるっけよ」 ④幼少期の成功体験から、自分もその手助け、成長過程に携わりたいと思ったから

首都圏 編

CAMPUS SNAP

自分の大学の好きなところは？

今回のキャンパススナップ首都圏編は、山梨大学・東洋大学の学生さんに登場していただきました！



- ① 今までで印象に残った授業は？
② 自分の大学の好きなところは？
③ 今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等々)の言葉は？
④ あなたが教職を志した動機は？



石谷恵太さん (東洋大学文学部英文文学科3年) ①教科書の読み聞かせの方法を学んだ『英語科指導法』 ②安くてボリューム満点の学食 ③高校3年の時の担任に言われた「自由には必ず責任がある」 ④中学生の時、英語の楽しさに気づかせてくれた先生に憧れて



永見明日佳さん (山梨大学教育人間科学部生活社会教育コース3年) ①大学でマルクスの『資本論』を読んだ授業 ②静かで落ち着いているところ ③高校の時、受験に向けて先生に言われた「強かに勝つ」 ④高校の時の先生と一緒に働きたいと思ったから



柿沼 岬さん (岩手大学教育学部学校教育教員養成課程4年) ①アカベラサークルの活動 ②他学部との交流が盛んなこと ③小学校の担任が言った「人のことを苦手でも嫌いにならないで。私はこのクラスが苦手です」 ④親からの「人と関わる仕事が似合う」の一言

CAMPUS SNAP

岩手 編

あなたが教職を志した動機は？

今回のキャンパススナップ岩手編は、岩手大学・盛岡大学の学生さんに登場していただきました！



- ① 最近打ち込んでいることは？
② 自分の大学の好きなところは？
③ 今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等々)の言葉は？
④ あなたが教職を志した動機は？



岩瀬花菜さん (盛岡大学文学部日本文学科4年) ①所属するストリートダンス部での学園祭公演に向けての練習 ②先生方の手厚い採用試験対策 ③小学校の時の担任に言われた「やればできる」 ④教育実習での生徒との関わり、職員室の雰囲気から惹かれたから



古屋美那実さん (山梨大学教育人間科学部芸術身体教育コース2年) ①大学の彫塑の授業 ②道具が充実しているアトリエがあること ③水泳の大会や受験などの節目で母親に繰り返された「自分を信じて」 ④美術と子どもに関わる仕事をしたかったから



大野葵衣さん (東洋大学文学部教育学科2年) ①英語劇を作った高校の授業 ②資料が豊富な教職資料室 ③高校卒業時、担任から贈られた「衣のように優しさで包んであげられる人になりたい」 ④障がいのある子ども達とその家族を支えたいと思ったから



岩崎京太さん (山梨大学教育人間科学部科学教育コース4年) ①中学の時、ドライアイスから炭素を取り出した理科実験 ②少人数授業で個別指導が受けられるところ ③小学校の校長先生の講話で聞いた「塵も積もれば山となる」 ④教員である両親の影響を受けて



小笠原優菜さん (東洋大学法学部法律学科3年) ①先生がとにかく厳しかった中学時代の国語の授業 ②キャンパスがとても綺麗 ③浪人中、母に言われた「好きなことを好きにやりなさい」 ④塾講師のアルバイトで教えるやりがいと楽しさを知ったから



菊地望美さん (岩手大学教育学部学校教育教員養成課程4年) ①アメフト部のマネージャー業 ②自然豊かなところ ③祖父に言われた「自分で決めたことは最後まで頑張れ」 ④内気な自分が児童会で人前に出るきっかけくれた小学5年の時の担任への憧れから



前田敦哉さん (盛岡大学文学部社会文化学科4年) ①大学の先生推薦本の読書 ②気軽に研究室を訪ねても、先生が快く対応してくれること ③大学の先生に言われた「やって無駄になる経験はない」 ④中学時代の熱血漢の先生がとてもカッコよく見えたから



桐山ひかりさん (岩手大学教育学部学校教育教員養成課程4年) ①ラクロス ②キャンパス内に4学部あり、他学部の人とも仲良くなれるところ ③大学の先輩に言われた「自分にできることを全力で」 ④苦手を好きに変えてくれた、高校の国語の先生への憧れから



小田 亮さん (盛岡大学文学部児童教育学科4年) ①ランニング ②学年、学科を越えての交流が盛んなところ ③高校の野球部の監督に言われた「夢は実現するためにある」 ④小学校の時、児童会に挑戦するきっかけくれた先生への憧れから

※学年は取材時のもの ※山梨大学教育人間科学部は、2016年4月に改組し教育学部へ名称変更しましたが、それ以前に入学した学生の所属は旧学部名となっています。

Interview



Tsuehira

— 体育大学の舞踊学専攻に在学中ですね。

3歳からクラシックバレエと日本舞踊を習っていて、高校では創作ダンス部に所属していました。大学では、踊るために必要な知識と、体を使って表現するとはどういうことなのか、頭と体、その両面で学びたいと思っています。

— 大学での学びは、どのように影響していますか？

お芝居も頭で考えながら、体を使って表現するものから、大学での経験が栄養になっているのを実感します。先日、映画の撮影で、せりふがうまく出でこず、あれこれ考えて、頭の中が真っ白に

表紙の人インタビュー

出会う人や経験すべて栄養として吸収したい

女優 土屋太鳳さん 日本女子体育大学 体育学部在学

頭で考えたことを体で表すのではなく、両者のバランスが合った時、自然と生まれるのだと学んだ瞬間でした。

— そういう学びを大学の友人と共有しているんですね。

友人と一緒に学ぶというより、「心のオアシス」という感じですが、最近はあまり会えないですが、撮影が夜遅くに終わっても、「少しだけでも」と、会いに来てくれるんです。30分でもおしゃべりできると、とても癒されます。

もうひとつの大切な「心の友」が本です。今は「伊勢物語」を読んでいます。好きな女性のもとに男性が通っていくのがロマンチックです。時空を超えて届く、昔の人の思いや感情を吸収して、自分の演技も、同じように多くの人に届けられたら、と思います。

— 役作りはどのように行うのですか？

2015年公開の映画「Orange オレンジ」で、自分とは全然タイプが違う役を演じました。原作と台

本を何度も読み、それでもどう表現するか悩みました。原作ファンの友人に電話して、「このシーンは、どう演じてもらいたい？」と聞いたりしました。最終的には自分で乗り越えることですが、要所所で周りの人に助けてもらっています。

— 今後、どのような女優になりたいですか？

「こうなりたい！」という具体的な女優像はないんです。シリアスなストーリーでも、コメディでも、「土屋太鳳を起用したい」と思ってもらえるような女優になるのが願いです。そのためにも、一つでも多くの引き出しが必要です。今、目の前にあることに全力でとりくみ、栄養にしていきたいと思っています。

Profile

1995年東京都生まれ。2008年、「トウキョウソナタ」で映画初出演。15年、連続テレビ小説「まれ」でヒロインを演じた。ドラマ「下町ロケット」、映画「青空エール」など話題作で活躍。16年10月よりTBS日曜劇場「IQ246」に出演中。

同じ夢をめざす仲間と今しかできない経験を!

「EDUPONTエデュポン」は、学校や地域という枠を超え、さまざまな形でこれからの「教育」を担っていく学生のみなさんを応援するコミュニティマガジンです。媒体の制作を通じて、全国の教育学部生の交流の場、学生が自由に「志」を抱き、行動に移すための有益な情報や活躍の場を提供することをめざしています。「EDUPONTエデュポン」の制作に加わってくれる全国の教員志望の大学生のみなさんの応募を心よりお待ちしております!



エデュポン EDUPONT 大学生特派員 大募集!

【応募条件】
教員志望もしくは教育に興味のある大学生

【活動内容】
①年2回程度の編集会議への出席※1
②編集会議で担当が決まった企画の企画立案、取材、原稿作成※2
※1:編集会議は東京で開催。往復交通費等は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。
※2:取材経費(交通費、宿泊費等)は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。実働内容に合わせ、薄謝ですが謝礼もご用意しています。

【応募方法】
E-mailにて、件名に「エデュポン大学生特派員参加希望」、本文に①氏名 ②大学名 ③学部学科 ④学年 ⑤住所 ⑥電話番号を記載の上、edupont@shakai-ouen.comまでご応募ください。(なお、応募状況によってご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。)

社会応援ネットワーク

土屋太鳳さんのサイン色紙を2名の方にプレゼントします。プレゼント 詳細はP16をご覧ください!

社会応援 ネットワーク



製作協力

日本教職員組合

取材協力

岩手大学

盛岡大学

東洋大学

山梨大学

岩手県高等学校教職員組合

神奈川県高等学校教職員組合

協賛

教職員共済生活協同組合

中央ろうきん社会貢献基金

Facebookもチェック



エデュポン

検索

EDU PONT

2016
autumn
vol. 6

発行人

高比良美穂

編集長

若染雄太

取材・編集

ニューメディア研究所
シンキング

撮影

岡村隆広
櫻井秀夫
武田憲久
長谷川博一
横井明彦

デザイン

細山田デザイン事務所

学生特派員

荒木真歩
(早稲田大学文化構想学部)
伊東花乃
(早稲田大学教育学部)
大西早紀
(島根大学教育学部)
岡田龍
(日本獣医生命科学大学
応用生命科学部)
金田陵一
(二松學舎大学文学部)

小島奈津子

(早稲田大学教育学部)
小林恵美
(二松學舎大学文学部)
田村桃花
(同志社女子大学現代社会学部)
原国光
(広島修道大学人文学部)
松木泰裕
(東京学芸大学大学院教育学研究科)
吉田唯子
(目白大学外国語学部)

2016年11月発行

発行人 高比良美穂

編集長 若染雄太

発行所 一般社団法人社会応援ネットワーク

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-12-11-3407
TEL: 03-6561-3739 <http://shakai-net.com>